

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/8

問1 15世紀後半から始まった大航海時代において、コロンブスが大西洋を横断する航海を行った主な背景と目的について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. オスマン帝国の台頭により従来の陸路が困難になったため、香辛料の産地であるアジアへの新航路を求めた。
2. 地中海貿易を独占していたイタリアの諸都市と協力し、アフリカ西海岸の開拓を進めるためであった。
3. ポルトガルの支援を受け、アフリカ南端の喜望峰を經由してインドへ到達するルートを確立するためであった。
4. 北アメリカ大陸にある金や銀の資源を独占し、イギリスやフランスの進出を阻止することが最大の目的であった。

問2 15世紀末にヨーロッパ人がアメリカ大陸近海へ到達したことが、現地の先住民社会に与えた深刻な影響について述べたものとして、最も適切な説明を選択してください。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症が蔓延し、先住民の人口が激減した
2. アジアとの直接貿易が始まったことで、先住民の伝統的な農耕文化が世界中に広まった
3. 先住民の言語がヨーロッパ諸国で公用語として採用され、独自の文明が保存された
4. イスラム教が急速に広まったことで、キリスト教諸国との対立が解消された

問3 16世紀から17世紀にかけて、日本の石見銀山で産出された銀が果たした役割について、当時の国際情勢を踏まえた説明として最も適切なものを選んでください。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 産出された銀は主にポルトガルや中国（明）へ輸出され、世界中に流通して国際経済に大きな影響を与えた
2. 銀は国内の通貨不足を補うために、海外への輸出が厳しく制限され、すべて国内の金座で管理された
3. 銀は当時の日本にとって主要な輸入商品であり、見返りとして日本からは大量の茶や磁器が輸出された
4. 石見銀山の銀は、軍事同盟の証としてヨーロッパ諸国の王室へ直接贈呈され、外交交渉の主導権を握るために使われた

問4 室町時代には、貴族や寺社に税を納める代わりに、商品の販売を独占する特権を得た「座」という商工業者の組織が活動していました。織田信長が安土城の下で行った、この「座」の特権を廃止し、税や労役を免除することで城下町の活発化を図った政策を何といいますか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 楽市・楽座
2. 分国法
3. 検地
4. 刀狩

問5 15世紀末、ポルトガルが危険な航海を経てアフリカ大陸を大きく回り込むインド航路を開拓しようとした経済的な目的として、最も適切なものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. 香辛料をイスラム商人などの仲介なしに直接輸入し、利益を独占するため
2. アメリカ大陸で発見された金や銀を安全にヨーロッパへ運ぶため
3. キリスト教を広めるため、アフリカ大陸の内陸部へ進出する拠点を築くため
4. アフリカ大陸の特産品である絹織物をアジア諸国に輸出するため

問6 16世紀半ばにヨーロッパから鉄砲が伝来したことは、その後の日本の社会や戦いのあり方にどのような影響を与えましたか。当時の状況を説明したものと、適切なものを選びなさい。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 足軽による集団戦が主流となり、それに対応するために堅固な城郭が築かれるようになった。
2. 騎馬武者による一騎打ちがさらに重視されるようになり、合戦の規模が縮小した。
3. 鉄砲の製造は国内では行われず、すべてヨーロッパからの輸入に頼っていたため普及しなかった。
4. 鉄砲はあくまで儀式用の道具として扱われ、実際の戦場で使用されることはほとんどなかった。

問7 戦国時代の戦術に鉄砲をいち早く取り入れた織田信長は、軍事力の強化だけでなく、商工業を活性化させるための経済政策も積極的に行いました。信長が実施した、市場での税を免除し、座の特権を廃止して自由な商売を認めた政策の名称として正しいものはどれですか。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. 楽市・楽座
2. 刀狩令
3. 太閤検地
4. 分国法

問8 織田信長が安土城を拠点としたのに対し、その後を引き継いだ豊臣秀吉が、天下統一の拠点として近畿地方の交通の要所に築いた城はどれか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 大坂城
2. 安土城
3. 江戸城
4. 姫路城

答え合わせ・解説

問1	答え 1 オスマン帝国の台頭により従来の陸路が困難になったため、香辛料の産地であるアジアへの新航路を求めた。	当時のヨーロッパでは香辛料の需要が高まっていたが、陸上の交易路がオスマン帝国の勢力下に入ったことで、直接アジアへ向かう海路の開拓が急務となりました。スペインの援助を受けたコロンブスは、地球が丸いことを前提に、大西洋を西に進むことで最短でアジアへ到達できると考え、航海を開始しました。アフリカ回りの航路を重視したポルトガルとは対照的な戦略でした。
問2	答え 1 ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症が蔓延し、先住民の人口が激減した	コロンブスらの到達以降、ヨーロッパからそれまでアメリカ大陸には存在しなかった天然痘、はしか、インフルエンザなどの感染症が持ち込まれました。これらの病気に対して免疫を持たなかった先住民は、植民地支配による過酷な労働や武力衝突と相まって、極めて短期間のうちに人口を大きく減らすこととなりました。この労働力不足を補うために、後にアフリカから多くの人々が奴隷として連れてこられるという歴史的背景があります。
問3	答え 1 産出された銀は主にポルトガルや中国(明)へ輸出され、世界中に流通して国際経済に大きな影響を与えた	石見銀山で増産された銀は、日本の歴史だけでなく世界史においても重要な位置を占めています。当時、世界で流通する銀の約3分の1が日本産であったと言われる時期もあり、その多くが石見銀山によるものでした。この銀はポルトガル船による南蛮貿易や、中国との交易（生糸の購入など）の主要な決済手段として使用され、東アジアやヨーロッパを含む広範な経済圏を支えました。
問4	答え 1 楽市・楽座	戦国時代以前は「座」と呼ばれる同族組織が特定の商品の販売権を独占していましたが、織田信長はこの独占を禁止しました。商工業者が自由に商売を行える環境を整えることで、各地から商人を呼び寄せ、城下町の経済的な発展と軍事的な安定を目指したのがこの政策の目的です。
問5	答え 1 香辛料をイスラム商人などの仲介なしに直接輸入し、利益を独占するため	当時のヨーロッパでは、肉の保存や調味料として不可欠な香辛料（コショウなど）の需要が高まっていました。しかし、それまでの陸路や地中海を経由するルートでは、イスラム勢力やイタリアの都市が仲介して高い利益を得ていました。ポルトガルは海路で直接インドへ向かうことで、これらの仲介を排除し、莫大な富を得ることを狙いました。
問6	答え 1 足軽による集団戦が主流となり、それに対応するために堅固な城郭が築かれるようになった。	鉄砲の伝来は、それまでの騎馬武者中心の戦術を、足軽の集団による一斉射撃を中心とした組織的な戦いへと激変させました。これに伴い、防御力の高い大規模な城が各地に築かれるようになり、戦国時代の終結と天下統一に向けた動きを加速させる要因となりました。
問7	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、戦国大名が支配する城下町において、独占的な営業権を持っていた「座」を廃止し、市場の税を免除して誰でも自由に商売ができるようにしました。これを楽市・楽座といいます。この政策により、各地から商工業者が集まり、鉄砲の調達や兵糧の確保といった軍事的な優位性を築くための経済的基盤を整えました。
問8	答え 1 大坂城	豊臣秀吉は、水上交通と陸上交通の結節点であった大坂の地に巨大な城を築き、政治と経済の中心地としました。ここを拠点に全国の諸大名を服従させ、統一事業を完成させました。

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/8

問1 16世紀、イエズス会が日本を含むアジアなどの海外への布教活動を積極的に行った背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山梨公立入試 類似)

1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会の勢力が縮小したため。
2. ルネサンスの影響により、キリスト教以外の学問が禁止されたため。
3. 島原・天草一揆の結果、幕府がキリスト教の布教を許可したため。
4. 大航海時代の到来により、ヨーロッパ全域がイスラム教に支配されたため。

問2 16世紀、日本には種子島への鉄砲伝来やフランシスコ・ザビエルによるキリスト教の布教など、ヨーロッパの文物がもたらされました。これらの物品が日本へ伝来する契機となったポルトガルの海外進出について、その歴史的背景を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛知公立入試 類似)

1. オスマン帝国が陸上の交易ルートを支配したため、香辛料の獲得や布教を目的として海路による新航路を開拓した。
2. モンゴル帝国の衰退によりシルクロードの安全が脅かされたため、キリスト教国を守るための軍事拠点を求めた。
3. 十字軍の遠征に失敗したヨーロッパ諸国が、イスラム勢力を背後から攻撃するためにアフリカ大陸の南下を試みた。
4. 産業革命によって大量生産された綿織物の市場を確保するため、アジア諸国との自由貿易ルートを確立した。

問3 16世紀のヨーロッパにおいて、ドイツのマルティン・ルターがカトリック教会の腐敗を批判し、聖書のみを信仰のよりどころとするよう説いて始まった一連の運動を何といいますか。 (2020年 京都公立入試 類似)

1. 宗教改革
2. ルネサンス
3. 十字軍
4. 産業革命

問4 16世紀半ば、ポルトガル人やスペイン人との間で行われた南蛮貿易において、日本から海外へ大量に輸出された品目は何ですか。当時の日本が世界有数の産出量を誇り、支払いの手段としても用いられたものを選びなさい。 (2018年 沖縄公立入試 類似)

1. 銀
2. 生糸
3. 香辛料
4. 陶磁器

問5 織田信長が自身の本拠地である安土などの城下町において、「楽市・楽座」の令を出した主な目的として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 静岡公立入試 類似)

1. 特定の商人が持つ独占的な特権を廃止することで、自由な取引を促し、城下町の経済を活性化させるため
2. 農村の土地の広さや収穫量を調査し、農民から直接、年貢を確実に徴収する仕組みを作るため
3. 農民から刀や脇差などの武器を取り上げることで、一揆を防ぎ、武士と農民の身分を明確にするため
4. 寺社や公家の勢力を守るために、座の権利を保護し、市場での徴税を強化して軍事費をまかなうため

問6 豊臣秀吉が実施した「刀狩」について述べた文として、誤っているものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)

1. 百姓から刀や弓、槍などの武器を没収した
2. 一揆を防ぎ、百姓を農作業に専念させようとした
3. この政策と太閤検地によって、兵農分離が進められた
4. 百姓に対し、名字を名乗り刀を差すこと（名字帯刀）を認めた

問7 16世紀半ば、種子島への鉄砲伝来をきっかけに始まった、ポルトガル人やスペインの商人との貿易に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 沖縄公立入試 類似)

1. キリスト教の布教とともに、鉄砲や活版印刷術などの新しい技術や文化が日本に伝えられた。
2. 長崎の出島を唯一の窓口とし、オランダから伝えられた医学や天文学などの学問が普及した。
3. 蝦夷地のアイヌ民族との交易を独占した松前藩が、サケや昆布などの特産品を全国に流通させた。
4. 東南アジア各地に日本町が形成され、朱印状を持った船がタイやルソンとの間を往来した。

問8 歴史上の出来事を整理した記録において、16世紀後半の「天正」年間に起きた事柄と、19世紀前半の「天保」年間に起きた事柄を比較したとき、天正遣欧少年使節に関する記述として正しいものはどれですか。 (2020年 岡山公立入試 類似)

1. 九州のキリシタン大名が、キリスト教世界の中心地へ少年たちを派遣した。
2. 江戸幕府の老中である水野忠邦が、キリスト教を禁止するために派遣した。
3. 足利義満が、明との間で勘合貿易を開始するために少年たちを同行させた。
4. 鎖国体制を完成させるため、九州の大名がポルトガル船の来航を許可した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会の勢力が縮小したため。	ヨーロッパ国内で宗教改革が広まると、プロテスタントの勢力が増し、相対的にカトリック教会の勢力が縮小しました。これに危機感を抱いたカトリック側は、組織を立て直すとともに、失った勢力を補うために海外での新しい信者獲得を目指しました。そのために結成されたのがイエズス会です。
問2	答え 1 オスマン帝国が陸上の交易ルートを支配したため、香辛料の獲得や布教を目的として海路による新航路を開拓した。	ポルトガルがアジアへ進出した最大の動機は、オスマン帝国の台頭によって困難になった陸路に代わる、香辛料などの交易ルートを確保することにあります。これにキリスト教の布教熱が結びつき、アフリカ南端の喜望峰を經由するインド航路が拓かれ、その延長線上でポルトガル人が日本に到達し、鉄砲やキリスト教が伝わることとなりました。
問3	答え 1 宗教改革	ルターは、当時のカトリック教会が免罪符（贖罪状）を販売して資金集めを行っていたことを批判し、キリスト教の本来の姿に戻ることを訴えました。この運動はヨーロッパ全体に広がり、カトリックから離脱したプロテスタントと呼ばれる新しい宗派が生まれるきっかけとなりました。
問4	答え 1 銀	南蛮貿易において、日本は石見銀山（島根県）などで産出された大量の銀を輸出し、その見返りとして中国産の生糸や火縄銃、火薬、香辛料などを輸入しました。当時、日本の銀産出量は世界の約3分の1を占めていたと言われるほど豊富で、国際的な決済手段として重要な役割を果たしていました。生糸や香辛料は主な輸入物であり、陶磁器が輸出の主力となるのは17世紀後半以降のことです。
問5	答え 1 特定の商人が持つ独占的な特権を廃止することで、自由な取引を促し、城下町の経済を活性化させるため	室町時代まで、商工業者は「座」と呼ばれる団体を作り、寺社や公家に税を納める代わりに販売の独占権を認められていました。信長はこの仕組みが城下町の自由な発展を妨げていると考え、座を廃止して税を免除する「楽市・楽座」を実施しました。これにより、全国から商人を呼び寄せ、城下町を自勢力の経済的拠点にすることに成功しました。
問6	答え 4 百姓に対し、名字を名乗り刀を差すこと（名字帯刀）を認めた	刀狩は、百姓から武器を取り上げることで武士と農民の身分をはっきりと分ける（兵農分離）ための政策でした。「名字帯刀」は江戸時代の武士に認められた特権であり、一般の百姓に対しては、逆に武器を持つことを厳しく禁止しました。
問7	答え 1 キリスト教の布教とともに、鉄砲や活版印刷術などの新しい技術や文化が日本に伝えられた。	16世紀半ばに始まった南蛮貿易では、ポルトガルやスペインの商人が来航し、貿易とキリスト教の布教が密接に結びついて行われました。この貿易を通じて、軍事面に大きな影響を与えた鉄砲だけでなく、活版印刷術などの西洋の技術も導入されました。オランダとの貿易や蘭学は江戸時代の鎖国下の特徴であり、アイヌとの交易は松前藩、日本町の形成は江戸時代初期の朱印船貿易に関連する事柄です。
問8	答え 1 九州のキリシタン大名が、キリスト教世界の中心地へ少年たちを派遣した。	天正遣欧少年使節は、1582年（天正10年）に九州のキリシタン大名によって派遣された使節団です。これに対し、水野忠邦による天保の改革は1841年から始まる江戸時代後期の出来事であり、勘合貿易は室町時代の出来事です。天正遣欧少年使節は、まだ江戸幕府が成立する前の時期に、西洋のキリスト教社会との接触を目的として行われました。選択肢にある「江戸幕府による派遣」や「勘合貿易」は、時代設定や背景が異なります。

問1 豊臣秀吉が全国で行った「太閤検地」によって確立された、近世の社会制度の仕組みについて説明した文として最も適切なものを選択してください。なお、当時の記録によれば、瀬戸内海の島々の住民に対しても秀吉の朱印状が下され、土地の生産力が統一された基準で示されています。（2020年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 全国の田畑の生産力を「石高」という米の収穫量で表し、武士はその石高に応じて軍役を果たすことが義務付けられた。 | 2. 土地の広さに応じて「貴高」という金額で生産力を表し、農民にはその金額に応じた武器の供出が義務付けられた。 | 3. 農村ごとに作成された検地帳に基づき、武士には土地の所有権が認められる一方で、軍役の義務は免除された。 | 4. 商業の発展を目的として、石高に応じた年貢をすべて現金で納めさせ、それを軍備の拡充費用に充てた。 |
|---|---|---|--|

問2 戦国時代から江戸時代にかけて、現在の島根県に位置するある鉱山では高品質な銀が大量に生産され、一時は世界の銀産出量の約3分の1を日本が占めていたと言われるほどの影響力を持っていました。2007年には世界文化遺産にも登録された、この鉱山の名称として正しいものはどれですか。（2019年 徳島公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石見銀山 | 2. 佐渡金山 | 3. 別子銅山 | 4. 足尾銅山 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 織田信長が掲げた「天下布武」というスローガンが示す、彼の政治的な目的についての説明として最も適切なものはどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. 武力によって全国を統一し、自らの権力によって日本を統治すること | 2. 全国の土地の広さや質を調査し、農民から確実に年貢を徴収すること | 3. 幕府の法典を整備し、裁判を公平に行う基準を定めること | 4. 仏教勢力と協力し、宗教的な権威を利用して民衆を統制すること |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|

問4 各時代における外来文化の受容とその背景について述べた文として、正しいものを選択してください。（2022年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 古墳時代に朝鮮半島からの渡来人が伝えた須恵器や漢字は、当時の有力豪族による支配体制の強化に役立てられた。 | 2. 遣唐使が廃止された後の平安時代中期に、唐からの天台宗・真言宗が伝わったことで、日本独自の国風文化が完成した。 | 3. 禅宗は、宋からの影響を強く受けた平安貴族の支持を得て、京都を中心に雅な文化として定着した。 | 4. ヨーロッパからの活版印刷術は、江戸幕府による鎖国政策が始まった直後に、キリスト教布教の道具として初めて日本に紹介された。 |
|---|---|--|---|

問5 十五世紀後半、スペインの支援を受けたコロンブスが大西洋を西へ進む航路を開拓しようとした歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. オスマン帝国が地中海の交易権を握ったため、アジアとの直接取引ができる新航路が必要になったから | 2. 十字軍の遠征が失敗に終わり、キリスト教を広めるための新たな土地をアジア以外に求めたから | 3. 産業革命が始まり、綿織物の原料となる原綿を大量に輸入するための最短ルートを求めたから | 4. マゼランが既に世界周航を達成しており、その航路の安全性を確認するよう命じられたから |
|---|--|---|--|

問6 1587年にバテレン追放令が出された背景や理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 九州を平定した際、宣教師が長崎などの土地を支配し、キリスト教徒が神社仏閣を破壊している状況を秀吉が危惧したため。 | 2. 江戸幕府がオランダとの貿易を優先するため、平戸にあったオランダ商館を長崎の出島に移転させる準備を進めたため。 | 3. 足利義満が明との間で始めた勘合貿易を復活させるために、倭寇を厳しく取り締まり、キリスト教を排除する必要があったため。 | 4. 島原・草野一揆を鎮圧した後に、全国のキリスト教徒を徹底的に把握するため、宗門改を制度化しようとしたため。 |
|---|---|---|---|

問7 織田信長が天下統一を有利に進めるために行った経済政策について、その具体的な内容と目的の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2022年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 関所を廃止して物資の流通をスムーズにし、楽市・楽座によって城下町を活性化させることで、軍事力や経済力を高めようとした。 | 2. 株仲間の結成を促して商人の特権を保護し、その見返りとして運上金や冥加金を取り立て、幕府の財政を立て直そうとした。 | 3. 全国の土地の広さや質を調査し、石高によって税を徴収する仕組みを整え、武士と農民の身分をはっきりと分けようとした。 | 4. 地方に守護や地頭を配置して土地管理の権限を与え、荘園の支配権を握ることで、朝廷や貴族に対抗する力を得ようとした。 |
|--|---|---|---|

問8 織田信長が自らの城下町である安土などで実施した政策で、同業者の組合である「座」の特権を廃止し、市場での税を免除して自由な商売を認めたものを何といいますか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|-----------|---------|-------|
| 1. 楽市・楽座 | 2. 株仲間の結成 | 3. 太閤検地 | 4. 刀狩 |
|----------|-----------|---------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 全国の田畑の生産力を「石高」という米の収穫量で表し、武士はその石高に応じて軍役を果たすことが義務付けられた。	太閤検地は、それまでバラバラだった土地の測量基準や収穫量の表示を統一し、土地の生産力を「石高（米の収穫量）」で表す仕組み（石高制）を確立しました。この石高は単なる年貢の基準にとどまらず、秀吉が配下の武士に対して、その石高の大きさに応じて戦いに必要な人数や馬などの軍役を負担させる基準ともなりました。これにより、領地（経済力）と軍事動員力が直接結びつけられ、強力な統治体制が築かれました。
問2	答え 1 石見銀山	島根県大田市に位置するこの鉱山は、16世紀に朝鮮半島から「灰吹法（はいふきほう）」という効率的な精錬技術が導入されたことで、銀の産出量が飛躍的に増加しました。ここで生産された銀は、当時の国際通貨として東アジアやヨーロッパとの貿易において重要な役割を果たしました。新潟県の佐渡金山、愛媛県の別子銅山、栃木県の足尾銅山など、他の有名な鉱山と位置や産出資源を区別して理解しておく必要があります。
問3	答え 1 武力によって全国を統一し、自らの権力によって日本を統治すること	「天下布武」の「布」には、広く行き渡らせる、あるいは敷くという意味があります。これは、単に武力で敵を倒すだけでなく、武士の力による新しい政治体制を日本全国に確立しようとする信長の統治構想を象徴しています。彼はこの方針のもと、室町幕府の将軍を追放し、中世的な権威に縛られない独自の政権運営を目指しました。
問4	答え 1 古墳時代に朝鮮半島からの渡来人が伝えた須恵器や漢字は、当時の有力豪族による支配体制の強化に役立てられた。	5世紀頃、朝鮮半島からの渡来人によってもたらされた漢字は記録手段として、須恵器や儒教は生活や統治の知恵として大和政権の社会に大きな影響を与えました。唐からの天台宗・真言宗は平安初期（遣唐使継続中）であり、宋からの禅宗は鎌倉時代の武士に好まれました。また、ヨーロッパからの活版印刷術は安土桃山時代（キリシタン大名や天正遣欧少年使節などによる）の伝来であり、鎖国前に既に導入されていました。
問5	答え 1 オスマン帝国が地中海の交易権を握ったため、アジアとの直接取引ができる新航路が必要になったから	当時、香辛料などの高価なアジアの商品は、地中海を経由する陸路や海路で運ばれていましたが、オスマン帝国の台頭により高い関税がかけられるようになりました。これに対抗するため、ポルトガルやスペインは地中海を通らずにアジアへ到達できる新航路の開拓を競い合っていました。
問6	答え 1 九州を平定した際、宣教師が長崎などの土地を支配し、キリスト教徒が神社仏閣を破壊している状況を秀吉が危惧したため。	秀吉は全国統一を進める中で、キリスト教が仏教など既存の権威を否定することや、宣教師を通じて土地が海外勢力に渡ることを警戒しました。選択肢にあるオランダ商館の移転や島原・天草一揆への対応は、いずれも後の江戸時代の出来事であり、勘合貿易は室町時代の事象です。
問7	答え 1 関所を廃止して物資の流通をスムーズにし、楽市・楽座によって城下町を活性化させることで、軍事力や経済力を高めようとした。	織田信長は、領地内に数多く存在した関所を廃止することで人や物の動きを自由にしました。これと同時に「楽市・楽座」を行うことで、古い特権を持つ「座」の力を抑え、経済を活性化させました。これらの政策は、商人の支持を得るだけでなく、城下町を兵站（物資の補給）の拠点として機能させ、天下統一を推し進める原動力となりました。
問8	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、商工業を盛んにして自らの経済力を強めるため、古い特権を持つ「座」の支配を打破しました。この政策により、新しく参入する商人にも自由な営業を認め、城下町に多くの人や物資が集まる仕組みを整えました。

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/9

問1 桃山文化に関連する出来事や人物について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 狩野永徳が屏風画を描き、千利休が茶の湯を大成させた。
2. 葛飾北斎が「富嶽三十六景」を描き、浮世絵が流行した。
3. 貸本屋が普及し、十返舎一九などの作者による滑稽本が人々の間で読まれた。
4. 庶民の間で、質素儉約を旨とする「わび茶」が町人文化の中心として広まった。

問2 16世紀、ヨーロッパでプロテスタントの勢力が拡大する中、カトリック教会が内部の自己改革を行い、勢力の回復を図るために海外布教を積極的に進めた動きを何とといいますか。また、その中心となって日本へもキリスト教を伝えた組織の名称として正しい組み合わせを選びなさい。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 対抗宗教改革におけるイエズス会
2. 宗教改革におけるプロテスタント
3. 十字軍におけるテンプル騎士団
4. ルネサンスにおけるメディチ家

問3 豊臣秀吉が行った太閤検地は、中世以来の複雑な土地支配の仕組みを整理し、近世の社会構造の基礎を築くものでした。この政策が土地の権利関係に与えた影響を説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

1. 実際に土地を耕作している農民の名前が検地帳に登録され、それまで公家や寺社が持っていた土地への権利は失われた。
2. 農民の土地所有は全面的に禁止され、検地帳にはその土地を支配する武士の名前のみが耕作者として登録された。
3. 公家や寺社の特権を維持するため、検地帳には以前からの土地所有者である貴族の名がそのまま引き継がれた。
4. 土地の面積のみが調査の対象となり、検地帳への登録を避けた農民には重い罰則を課して土地を取り上げた。

問4 16世紀半ばに種子島へ漂着した船に乗っていた人々によって、日本に鉄砲が伝えられました。この鉄砲を伝えた人々の国名と、その後、高度な金属加工技術を活かして鉄砲の大量生産を行い、商工業の発展とともに繁栄した都市の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. ポルトガルと堺
2. スペインと堺
3. イギリスと博多
4. オランダと長崎

問5 16世紀のヨーロッパにおいて、ドイツのマルティン・ルターがカトリック教会の腐敗を批判し、聖書のみを信仰のよりどころとするよう説いて始まった一連の運動を何とといいますか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 宗教改革
2. ルネサンス
3. 十字軍
4. 産業革命

問6 織田信長が自らの城下町である安土などで実施した政策で、同業者の組合である「座」の特権を廃止し、市場での税を免除して自由な商売を認めたものを何とといいますか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 楽市・楽座
2. 株仲間の結成
3. 太閤検地
4. 刀狩

問7 戦国時代から安土桃山時代にかけて、織田信長や豊臣秀吉といった有力な武将たちが、千利休の提唱した「わび茶」を政治の場に取り入れた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 岐阜公立入試 類似）

1. 静寂な茶室という空間が、武将同士の密接な交渉や家臣との信頼関係を築く重要な場となったから。
2. わび茶が公家の独占的な教養であったため、公家社会とのパイプを築く唯一の手段だったから。
3. 質素な茶室を奨励することで、戦費を調達するために領民へ儉約を促すモデルケースとしたから。
4. 茶道を通じた精神修行を義務付けることで、武士が戦場へ出ることを拒まないように教育したから。

問8 豊臣秀吉が実施した政策のうち、全国で「升（ます）」などの単位を統一して土地の広さや予想収穫量を調べ、耕作者の名前を帳簿に記録することで、年貢を確実に取り立てようとした取り組みを何とというか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 太閤検地
2. 班田収受の法
3. 地租改正
4. 墾田永年私財法

問9 安土桃山時代において、織田信長の後を継ぎ天下を統一した豊臣秀吉が行った政策のうち、農民に対して土地の測量を行って収穫量を定め、一方で武器の所持を禁じて没収することで、武士と百姓の身分を明確に区別しようとした一連の社会変革を何と呼びますか。（2018年 京都公立入試 類似）

1. 兵農分離
2. 下剋上
3. 公地公民
4. 版籍奉還

答え合わせ・解説

問1	答え 1 狩野永徳が屏風画を描き、千利休が茶の湯を大成させた。	狩野永徳による力強い屏風画と、千利休による茶の湯の完成は、いずれも桃山文化を代表する事象です。葛飾北斎の浮世絵や貸本屋の普及、滑稽本の流行は、いずれも江戸時代の中期から後期にかけての町人文化（元禄文化や化政文化）の特徴であり、桃山文化とは時代背景が異なります。
問2	答え 1 対抗宗教改革におけるイエズス会	16世紀のヨーロッパでは、免罪符（贖宥状）の販売などをきっかけにルターやカルヴァンが教会批判を行い、プロテスタントの勢力が急速に拡大しました。これに対抗するため、カトリック教会は内部改革を進めるとともに、新大陸やアジアなどの海外に新たな信者を求める活動を展開しました。この一環として設立されたのがイエズス会であり、フランシスコ・ザビエルなどの宣教師が日本へも来航し、キリスト教が日本に伝えられる背景となりました。
問3	答え 1 実際に土地を耕作している農民の名前が検地帳に登録され、それまで公家や寺社が持っていた土地への権利は失われた。	太閤検地は「一地一作人の原則」に基づき、一つの土地に対して一人の耕作者を確定させる政策でした。作成された検地帳には、実際にその土地を耕作する農民の名前が登録されました。これにより、平安時代以来の荘園制において、一つの土地に対して公家や寺社などが重層的に持っていた複雑な権利が整理・排除され、登録された農民が直接、領主に年貢を納める仕組みが整いました。
問4	答え 1 ポルトガルと堺	1543年に種子島へ漂着したポルトガル人によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。この新兵器は、自治都市として栄えていた和泉国の堺や紀伊国の根来などの職人によって国産化が進められ、大量生産されるようになりました。これにより、戦国時代の戦い方は騎馬戦から足軽による集団戦へと大きく変化しました。
問5	答え 1 宗教改革	ルターは、当時のカトリック教会が免罪符（贖罪状）を販売して資金集めを行っていたことを批判し、キリスト教の本来の姿に戻ることを訴えました。この運動はヨーロッパ全体に広がり、カトリックから離脱したプロテスタントと呼ばれる新しい宗派が生まれるきっかけとなりました。
問6	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、商工業を盛んにして自らの経済力を強めるため、古い特権を持つ「座」の支配を打破しました。この政策により、新しく参入する商人にも自由な営業を認め、城下町に多くの人や物資が集まる仕組みを整えました。
問7	答え 1 静寂な茶室という空間が、武将同士の密接な交渉や家臣との信頼関係を築く重要な場となったから。	当時の有力な武将たちは、茶の湯を単なる趣味ではなく「御茶湯御政（おちやのゆごせい）」として政治に利用しました。狭く密閉された茶室は機密保持に適しており、そこで行われる茶会は、恩賞として名品を授けたり、重要な政治的決断を下したりする、武家社会の秩序維持のための特別な儀礼として機能しました。
問8	答え 1 太閤検地	それまでバラバラだった土地の測量基準を全国で統一し、一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を登録しました。これにより、古い時代の荘園制度が完全に消滅し、農民から直接年貢を徴収する仕組みが確立されました。
問9	答え 1 兵農分離	太閤検地によって農民を土地に縛り付け、刀狩によって農民から軍事力を奪うことで、戦う役割の「武士」と、農業に専念する「百姓」という身分の区別が完成しました。これを兵農分離といいます。下剋上は身分の低い者が実力で上の者を倒す風潮を指し、兵農分離はこうした混乱を収束させるための仕組みでもありました。

問1 豊臣秀吉が実施した「太閤検地」が、後の江戸幕府にも続く社会の仕組みに与えた影響や目的について述べた文として、正しいものを選択してください。（2020年 鳥取公立入試 類似）

1. 土地の生産力を石高で把握することで、武士が負担すべき軍役の規模を明確にし、組織的な軍事体制を整える根拠とした。
2. 刀狩と同時に実施することで、農民から武器を没収する代わりに、石高に応じた軍役を農民にも課すことを目的とした。
3. 戦国大名が独自に行っていた検地の方法を維持し、各地域の多様な税制を尊重することで地方自治を促進した。
4. 輸出入の統計資料において石高を基準とすることで、海外貿易における日本国内の生産力を対外的に示す指標とした。

問2 大航海時代の到来を支えた背景について、科学技術の発展に寄与した文化運動の名称と、当時のヨーロッパ諸国がアジアから獲得しようとした代表的な産物の組み合わせとして正しいものはどれか。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. ルネサンス — 香辛料
2. ルネサンス — 小麦
3. 宗教改革 — 綿花
4. 啓蒙思想 — サトウキビ

問3 安土桃山時代、豊臣秀吉は「百姓が余分な武器を持っていると、年貢を怠ったり一揆を企てたりする恐れがある」という考えに基づき、全国の農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などを没収しました。この政策の名称として適切なものはどれですか。（2022年 岐阜公立入試 類似）

1. 刀狩
2. 太閤検地
3. 楽市・楽座
4. 惣無事令

問4 室町時代に京都を主な舞台として発生し、その後の社会に大きな影響を与えた「応仁の乱」に関する説明として最も適切なものを選びなさい。（2015年 鳥取公立入試 類似）

1. 将軍の跡継ぎ問題や守護大名の対立が原因で始まり、戦国大名が各地で実力により領地を支配する「下克上」の風潮を強める要因となった。
2. 元軍による二度にわたる侵攻に対して幕府が御家人を動員した戦いであり、恩賞の不足から鎌倉幕府が衰退するきっかけとなった。
3. 源氏と平氏が政権をめぐる争った戦乱であり、勝利した源頼朝が鎌倉に幕府を開く直接のきっかけとなった。
4. 織田信長が足利義昭を追放したことで室町幕府が滅亡し、近世に向けた天下統一の動きが加速した。

問5 11世紀末から始まった十字軍の遠征ののち、16世紀のヨーロッパではキリスト教の世界を大きく揺るがす出来事が相次ぎました。これらに関する出来事を、時期の早いものから順に正しく並べたものはどれですか。（2015年 大分県公立入試 類似）

1. 十字軍の結成 → ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の結成
2. 十字軍の結成 → イエズス会の結成 → ルターによる宗教改革の開始
3. ルターによる宗教改革の開始 → 十字軍の結成 → イエズス会の結成
4. ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の結成 → 十字軍の結成

問6 1575年に起きた長篠の戦いの歴史的背景や結果に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 大阪公立入試 類似）

1. 織田信長が大量の鉄砲を組織的に使用して勝利し、戦国時代の戦闘形態が騎馬中心から足軽・鉄砲中心へと変化する転換点となった。
2. 織田信長が今川義元を田楽狭間で奇襲により討ち取り、尾張国から全国へ勢力を広げるきっかけとなった。
3. 羽柴秀吉が織田信長の後継者争いにおいて柴田勝家を破り、天下人としての地位を不動のものとした。
4. 徳川家康率いる東軍と石田三成率いる西軍が激突し、その後の江戸幕府成立へとつながる決定的な戦いとなった。

問7 1573年に、織田信長が当時の将軍を京都から追放したことにより、約240年続いた室町幕府は滅亡しました。このとき京都から追放された、室町幕府最後の将軍は誰ですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 足利義昭
2. 足利尊氏
3. 足利義満
4. 足利義政

問8 16世紀半ば、戦国時代から安土桃山時代にかけて行われた南蛮貿易において、日本がヨーロッパ諸国から輸入した品物と、日本から輸出した品物の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2016年 香川公立入試 類似）

1. 輸入：生糸・鉄砲・ガラス製品
輸出：銀
2. 輸入：香料・陶磁器・木綿
輸出：金
3. 輸入：茶・仏像・銅銭
輸出：硫黄
4. 輸入：砂糖・石油・機械
輸出：絹織物

問9 15世紀末、アフリカ南端の喜望峰を經由してインドへ到達する直接航路を開拓し、香辛料貿易において重要な役割を果たした人物を、次の中から選びなさい。（2021年 京都公立入試 類似）

1. ヴァスコ・ダ・ガマ
2. コロンブス
3. マゼラン
4. アメリゴ・ヴェスプッチ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 土地の生産力を石高で把握することで、武士が負担すべき軍役の規模を明確にし、組織的な軍事体制を整える根拠とした。	太閤検地によって導入された石高制の重要な目的の一つは、軍事力の体系化です。秀吉は、全国の土地の生産力を石高という統一単位で把握することで、どの大名や武士がどの程度の軍事負担（軍役）を担うべきかを数値に基づいて命令できるようにしました。これは、単なる徴税の仕組みではなく、政権が全国の武士を統制し、戦いに必要な人や馬を確実に確保するための高度な軍事・行政制度でした。
問2	答え 1 ルネサンス — 香辛料	中世から近世にかけてのヨーロッパでは、人間中心の文化を復興させようとするルネサンスが起こり、天文学や羅針盤の改良といった科学技術の進歩をもたらしました。これが大航海を可能にする技術的基盤となりました。また、経済的な目的として、食生活において肉の保存や臭み消しに欠かせなかったアジア産の香辛料を求めたことが、新航路開拓の大きな動機となりました。
問3	答え 1 刀狩	1588年に発令された「刀狩令」に基づく政策です。農民から武装を奪うことで、戦国時代のような大規模な土一揆を防ぐ目的がありました。なお、没収した武器は方広寺の大仏造営に使う釘や鋸（かすがい）に再利用すると説明することで、農民の心理的な抵抗を抑えようとした側面もあります。
問4	答え 1 将軍の跡継ぎ問題や守護大名の対立が原因で始まり、戦国大名が各地で実力により領地を支配する「下克上」の風潮を強める要因となった。	応仁の乱は、室町幕府の第8代将軍・足利義政の継嗣問題や、有力守護大名である細川氏と山名氏の対立などが複雑に絡み合っ発生しました。この戦乱により幕府の権威は完全に失墜し、地方では実力のある者が上の者を倒して勢力を広げる「下克上」が一般的となり、約100年続く戦国時代へと移行しました。他の選択肢は、蒙古襲来、治承・寿永の乱（源平の争乱）、室町幕府の滅亡に関する説明です。
問5	答え 1 十字軍の結成 → ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の結成	まず11世紀末に、聖地エルサレムの奪還を目指して十字軍が結成されました。その後、16世紀に入るとドイツのルターが教会のあり方を批判して聖書を重視する宗教改革を始めました。この宗教改革の広がりを受けて、カトリック教会側が勢力の立て直しと海外布教のために結成したのがイエズス会です。
問6	答え 1 織田信長が大量の鉄砲を組織的に使用して勝利し、戦国時代の戦闘形態が騎馬中心から足軽・鉄砲中心へと変化する転換点となった。	長篠の戦いは、単なる領地争いではなく、軍事技術の革新が勝敗を決定づけた重要な出来事です。これ以降、日本の戦いは個人技を重んじる騎馬戦から、鉄砲を備えた足軽集団による組織的な集団戦へと大きく移行していくことになりました。
問7	答え 1 足利義昭	織田信長は1568年に足利義昭を奉じて京都に入り、彼を第15代将軍に就けましたが、その後両者は対立を深めました。信長が1573年に義昭を京都から追放したことで、足利氏による幕府機構は事実上消滅しました。足利尊氏は室町幕府の初代将軍、義満は第3代、義政は第8代将軍です。
問8	答え 1 輸入：生糸・鉄砲・ガラス製品 輸出：銀	南蛮貿易では、ポルトガル人やスペイン人が東南アジアや中国の拠点を通じて日本と取引を行いました。日本からは当時世界有数の産出量を誇った銀が大量に輸出され、見返りとして戦国大名たちが求めた鉄砲や火薬、さらに中国産の生糸やヨーロッパの珍しいガラス製品などがもたらされました。茶や銅銭の輸入は日宋貿易や日明貿易の特徴であり、砂糖や石油などはより後世の貿易品です。
問9	答え 1 ヴァスコ・ダ・ガマ	1498年、ポルトガルの支援を受けたヴァスコ・ダ・ガマは、アフリカ南端の喜望峰を回ってインド西岸のカレクトに到達しました。これにより、イスラム商人を介さずにアジアの香辛料を直接手に入れるルートが確立され、ポルトガルに莫大な富をもたらしました。